

授業科目	腫瘍専門外科医コース： キャンサーボード演習		
区分・単位	演習 1単位	講義番号	
年次・期別	1,2,3年次	曜日・時限	
教室		電話番号	
担当教員	教授：島田光生、丹黒 章、金山博臣、苛原 稔、武田憲昭 准教授：先山正二、福森知治、古本博孝、田村公一 講師：栗田信浩		
一般目標	キャンサーボードカンファレンスにおいて患者の治療計画を発表し、討議ができる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 患者に適切な治療を計画し、キャンサーボードカンファレンスにおいてプレゼンテーションができる。</li> <li>2. キャンサーボードカンファレンスにおいて科学的根拠に基づいた討議ができる。</li> </ol>		
概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上部消化管、下部消化管、肝臓、胆・膵、乳腺、頭頸部、肺、泌尿器科、婦人科のいずれかのキャンサーボードカンファレンスに定期的に参加する。</li> <li>2. 他科に関連したがん患者で、<u>治療方針の決定に難渋している担当患者をキャンサーボードカンファレンスにおいてプレゼンテーションし、治療方針を検討する。</u></li> <li>3. 他科に関連し、過去に経験したがん患者で、治療方針に難渋したがん患者をキャンサーボードカンファレンスにおいてプレゼンテーションし、治療方針を検証する。</li> <li>4. 担当患者の治療経過の報告や治療変更についても、キャンサーボードカンファレンスにおいてプレゼンテーションする。</li> <li>5. キャンサーボードカンファレンスにおける討議に参加し、科学的根拠に基づいた意見を述べる。</li> <li>6. キャンサーボードにおける症例検討において、包括的集学治療の計画を立案、調整する経験を積む。</li> </ol>		

	<p>7. 各科におけるがんに対する治療指針について<u>大学院生がミニレクチャーを行い、プレゼンテーションスキルを身につける。</u></p>
<p>テキスト・ 参考書等</p>	
<p>成績評価基準 成績評価方法</p>	<p>担当症例つき症例レポートを提出し、評価する。</p>
<p>研究活動との 関連</p>	